



る。

○橋北こども園設置にあたり、旧小学校施設を利用するため、園児の体格に合った施設ではないことや、給食室と保育室が離れていること等の懸念があったが、設置後の状況について確認したい。また、公立幼稚園の適正化における、高花平幼稚園のこども園化に向けた状況について確認したい。

⇒議員 橋北こども園については、よい環境であり、地域にも喜ばれているという声を聞き及んでいる。また、高花平幼稚園については、私立保育園との調整等もあり、進みにくい状況にある。

○あけぼの学園に通園する児童の兄弟姉妹の一時保育について、以前から課題であったが、今なお解消されていない。今回のあけぼの学園の移転整備に合わせて、保護者から問題提起があったはずであり、あけぼの学園の施設内に一時保育のスペースを設けるべきではなかったのか。あけぼの学園内や近隣に一時保育ができる施設を設置したり、一時保育事業を行う園を増やすなど、何らかの対応をしてほしい。

⇒議員 以前にもご意見をいただいたが、未だ解決策がないというのが現状であるため、検討していきたいと考える。また、担当部局にも伝える。

○以前にあけぼの学園に子供を通園させていたが、兄弟姉妹の預け先等、子育てに苦労した。しかし、今は第2子以降子育てレスパイトケア事業といった制度ができており、本市の制度が整ってきたと感じる。また、本市にあけぼの学園があったからこそ、仲間ができ、本市で子育てをすることができたと感じている。今後も福祉の充実を願っており、予算との兼ね合いもあり難しい部分もあるが尽力してほしい。

⇒議員 障害者にとって暮らしやすい四日市にしていきたいと考える。

⇒議員 第2子以降子育てレスパイトケア事業について、利用期間を産後6か月から産後12か月に延長したが、利用回数は変わっていないため、必要とする方のニーズに応えられるよう拡充の必要があると考える。

○中学校給食について、県地区の農業センター1か所に給食センターを設置し、そこから全校に配送するとのことであるが、提供温度が心配である。給食センターの箇所数について変更の余地はあるのか。

⇒議員 全国の約65%がセンター方式であり、また、昨今の食缶は保温効果が高いため、温度をあまり低下させずに適温提供できるということが全国的にも実証されている。議会においても、複数センターや自校調理方式を支持する声もあるが、セン

ター1か所が確定したわけではない。

○保育園給食は調理後2時間以内に提供しなければならないが、給食センター1か所で2時間以内に提供できるのか。

○交通状況や事故等を鑑みた場合、給食センター1か所に不安を感じるがどうか。

⇒議員 すべての中学校に1時間以内で配送できると見込んでいる。

⇒議員 本市の小学校は自校調理方式であり、給食といえば自校調理方式というイメージを持つが、全国的にはセンター方式が多く、長年にわたり運用されている。最初は不安を感じるかもしれないが、運用後は円滑に運用できるのではないかと考える。

⇒議員 配送時間については、教育委員会が実際に試走して検証している。また、給食センターの箇所数については、議会内でも意見が分かれている。個人的に、複数箇所は安心であるというイメージも持つが、少子化が進む中、財政面からも考える必要があり、持続可能な運営を考えると給食センター1か所で進めていくべきと考える。

⇒議員 確かに自校調理方式は望ましいが、検証の結果、難しいと感じている。しかし、万が一に備えてのリスク分散や確実な配送を考えると、給食センターが複数あったほうがよいと考える。予算面を考慮する必要もあるが、食は大切なことであり、もっと予算を投じてほしいと考えている。

○中学校給食におけるアレルギー対応はどのようなか。

⇒議員 当初、教育委員会としては除去食を基本として考えていたが、議会において代替食の検討について指摘し、その後策定された中学校給食基本構想・基本計画において、代替食での対応も検討を行っていくことが明記されている。

○市民と市職員の間で行き違いが起こらないような対応について、研修をお願いしたい。

⇒議員 ご意見として承る。

○市職員は定期的に異動があり、専門性を持った職員が少ないと見受けられるため、接遇面を含めた教育を徹底してほしい。

⇒議員 接遇についても研修を行っているが、市民からの声を受け、さらなる改善にもつながると考える。また、議会としてもチェックしていきたい。

○富田地区において、児童生徒が横断歩道を渡っているにもかかわらず、自動車が一旦停止せずに走行している現場を見かけるため、市長や地区市民センター館長が学校の通用

門に立って見守りをしてほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。